



平成26年4月17日

各 位

会 社 名	不 二 製 油 株 式 会 社
代 表 者 氏 名	取 締 役 社 長 清 水 洋 史
(コード番号)	2 6 0 7 東 証 第 1 部 )
問 合 せ 先	IR・広報部長 隈 部 博 史
( T E L .	0 7 2 - 4 6 3 - 1 0 3 5 )

フィリピン中部を襲った平成25年台風30号による当社グループにおける  
連結子会社の状況ならびに特別損益の計上について

平成25年11月にフィリピン中部を襲った平成25年台風30号により、被害を受けた当社グループにおける連結子会社の状況、ならびに平成26年3月期(平成25年4月1日～平成26年3月31日)における特別損益の計上について、下記の通りお知らせいたします。

記

1. 被災した連結子会社の状況および今後について

平成25年台風30号による被害を受けた当社の連結子会社NEW LEYTE EDIBLE OIL MANUFACTURING CORPORATION(フィリピン・レイテ島)は、生産設備に甚大な被害が生じました。このことより、同連結子会社での設備再投資、事業継続を検討しておりましたが、事業採算、事業運営リスク等を勘案し、設備再投資を行わないことを決定いたしました。これにより、同連結子会社の事業は縮小するものの、今後は、フィリピンにおける市場開拓、原料調達等の拠点として運営していく予定です。

2. 平成26年3月期の特別損益の計上について

台風30号の災害による損失として、棚卸資産の評価損等7億10百万円及び主として工場設備の除却損2億90百万円等の計11億21百万円を「災害による損失」として、平成26年3月期に特別損失として計上する見込みであります。

また、被害を受けた棚卸資産及び固定資産については、保険が付保されており、一時金として受取った保険金8億2百万円を、平成26年3月期に特別利益として計上する見込みであります。

なお、平成26年3月期末以降にも被害を受けた資産に対する保険金の受取を見込んでおります。

以 上